
Fri., November 14

Room 18 | F202, 2F, Annex Hall, PACIFICO Yokohama

カテーテルアブレーション委員会・臨床工学技士部会ジョイントセッション
アブレーション業務における医師から MP へのタスクシフト
～EP ラボ / 3 D マッピング / スティムレーター / 高周波通電装置 操作者を育成するには？～ 14:40-15:50

座長：河野律子（産業医科大学病院 循環器内科）

座長：丹生 治司（小倉記念病院 臨床工学課）

コメンテーター：高月 誠司（慶應義塾大学病院 循環器内科）

コメンテーター：本間 崇（公益社団法人 日本臨床工学技士会、善仁会グループ）

コメンテーター：前川 正樹（大浜第一病院 臨床工学科）

CAA-CEA1 当院におけるアブレーション業務の MP へのタスクシフトの実際と工夫 ～みんなでやろうアブレーション～	4
林 健太郎（上尾中央総合病院 循環器内科 不整脈科）	
CAA-CEA2 アブレーション業務タスクは臨床工学技士に任せいいのか？ ある市中病院の現状	4
堺 美郎（済生会熊本病院 臨床工学部 兼 不整脈先端治療部門）	
CAA-CEA3 当院における医師の働き方改革に対する不整脈業務の取り組みと現状	4
小川 浩司（国立循環器病研究センター 臨床工学部）	